

第23期第2回常任理事会議事録

日時 昭和59年9月28日(金) 10:00~12:00
 場所 気象庁観測部会議室(6F)
 出席者 山元, 田宮, 土屋, 花房, 松野, 竹内, 浅井,
 山岸, 能登, 吉野, 河村, 春日

議事

1. 評議員の選出について

検討の結果次の9名が評議員に選出された。

末廣重二	気象庁長官
内田英治	気象庁予報部長
菊池幸雄	気象庁観測部長
関口理郎	気象庁海洋気象部長
安井正	気象大学校長
小林寿太郎	日本気象協会
高橋浩一郎	元気象庁長官
増沢譲太郎	前気象庁長官
岸保勘三郎	前日本気象学会理事長

(敬称略)

2. 奨励金受領者の選考について

全理事の投票による結果次の3名が決定した。

平隆介会員	福岡管区気象台
加藤敏彦会員	東京管区気象台三宅島測候所
柴山元彦会員	大阪教育大学附属高等学校

3. 学術会議会員選定のための手続きについて

全理事の意見を参考にして検討した結果、次のようにすることにした。

(1) 登録する研究連絡委員会は地球物理学研連のみとする。

(2) 学術会員の候補者の選定および推薦人の指名

ア. 理事会が推薦人を指名し、会員候補者を選定する。

ただし、学会員の意向が反映されるよう配慮する。

イ. 今回の方式は次回以後のそれを拘束するものではない。

上記条件のもとで、アの会員候補者選定の具体的方法について総合計画および庶務担当理事が原案を作成して次回理事会に提案すること、

なお、9月28日(金)資料を添えて、学術研究団体登録の申請を行った。

4. 昭和60年度予算について

10月の全国理事会に提案する方針について検討し、次の事項を考慮して予算案を作成することとした。

夏期大学の補助を含めた支部交付金の増額、国際学術交流基金の増額および事務局の事務処理能力を増すための機器の整備。

なお、会費値上げのうち外国団体Aを「46 USドルを65 USドルに、外国団体Bを「85 USドルを100 USドル」とすることが承認された。

5. 中国気象学会創立六十周年記念への祝辞及び今後の日中協力について

祝辞は一部修正のうえ承認された。また、日中気象学会協力計画の方針について検討した。

6. 科研費審査委員候補者の推薦について

地球物理学第2段の候補者として日本気象学会としては浅井理事を推薦することが承認された。

7. 理事長就任挨拶について

今後、理事長就任時には「天気」に挨拶を掲載することにする。

8. 理事会(於福岡)の議題について

(1) 昭和60年度予算(案)について

(2) 学術会議会員候補者の選定および推薦人の指名について

(3) 国際学術交流について

(4) その他

とすることになった。

9. 会員の新規加入の承認について

個人会員常盤 実ほか5名の新規加入を承認。